

# 精神病床の現状

## 特定入院料

(※以外は平成18年7月1日現在)

精神科救急入院料 (1,481床)

精神科急性期治療病棟入院料  
(8,033床)

児童・思春期精神科入院医療管理加算 (520床；注)

小児入院医療管理料 (105施設、病床数不明；注)

老人性認知症専門病床：26,223床※  
 ・老人性認知症疾患治療病棟入院料(16,870床)  
 ・老人性認知症疾患療養病棟入院料(医療型9,353床)※※  
 ・老人性認知症疾患療養病棟入院料(介護型4,767床)※※※  
 ※平成17年現在 ※※平成18年4月～廃止  
 ※※※平成17年介護サービス施設・事業所調査

精神療養病棟  
入院料 (72,413床)

特殊疾患療養病棟 2 (12,490床；注)

121,160床；注  
(注；精神病床以外も含む)

## 精神病棟入院基本料

(平成18年5月1日現在)

10：1 (439床)

15：1 (124,970床)

18：1 (30,392床)

20：1 (34,997床)

特別入院基本料 (18,459床)

212,724床 (中医協 調査)

## 特定機能病院入院基本料

(平成18年5月1日現在)

7:1  
(47床)

10:1  
(335床)

15:1  
(3,085床)

# 精神科入院に係る診療報酬と主要要件①

	医師の配置	看護職員等の配置	構造設備等	その他の主要要件	算定の対象となる患者	診療報酬点数	
精神病棟入院基本料	医師 48:1	看護 7:1 (特定機能病院のみ)	・特記なし	・病棟の平均在院日数28日以内	・精神疾患を有する患者	1,311点	※初期加算 459点 (~14日)
		看護 10:1				1,240点	242点 (15~30日)
		看護 15:1		800点		125点 (31~90日)	
		看護 18:1		712点		20点 (91~180日)	
		看護 20:1		658点		5点 (181日~1年)	
		看護 25:1		550点		※初期加算あり	
精神科療養病棟入院料	指定医 病棟常勤1 医師 48:1	看護 4:1 (当分の間は看護補助者と合わせて5:1) OT 1人	・1看護単位 60床以下 ・1病室6床以下	・病院にPSWまたは臨床心理技術者常勤 ・病院にOT室または生活技能訓練室	・長期の入院を要する精神疾患を有する患者	1,090点	
認知症病棟入院料1	医師 病棟常勤1 48:1	看護 20:1 看護補助者 25:1 専従作業療法士1人	・デイルーム等 ・生活機能回復訓練室	・病院にPSWまたは臨床心理技術者常勤	・集中的な治療を有する認知症患者	1,330点 (~90日)	1,180点 (91日~)
認知症病棟入院料2		看護 30:1 看護補助者 25:1	・生活機能回復訓練室			1,070点 (~90日)	1,020点 (91日~)

# 精神科入院に係る診療報酬と主要要件②

	医師の配置	看護職員等の配置	構造設備等	その他の主要要件	算定の対象となる患者	診療報酬点数
精神科救急入院料1	指定医 病棟常勤1人 病院常勤5人 医師 16:1	看護 10:1 PSW 病棟常勤2人	・隔離室・個室が半数以上 ・CT等の検査が速やかに実施できる体制	・時間外診療の件数 ・措置・緊急措置・応急入院の件数 ・新規入院患者の6割以上が3月以内に在宅移行	・措置・緊急措置入院患者 ・3ヵ月以内に精神病棟に入院したことがない患者	3,431点 (～30日) 3,031点 (31日～)
精神科救急入院料2				・時間外診療の件数 ・措置・緊急措置・応急入院の件数 ・新規入院患者の4割以上が3月以内に在宅移行		3,231点 (～30日) 2,831点 (31日～)
精神科救急・合併症入院料	指定医 病棟常勤3人 精神科医 病院常勤5人 医師 16:1	看護 10:1 PSW 病棟常勤2人	・合併症ユニットが2割以上 ・隔離室・個室又は合併症ユニットが半数以上 ・救急蘇生装置、呼吸循環監視装置等 ・CT等の検査が速やかに実施できる体制	・時間外診療の件数 ・措置・緊急措置・応急入院の件数 ・新規入院患者の4割以上が3月以内に在宅移行	・措置・緊急措置入院患者 ・3ヵ月以内に精神病棟に入院したことがない患者 ・身体疾患の治療のため一般病棟に入院した患者	3,431点 (～30日) 3,031点 (31日～)
精神科急性期治療病棟入院料1	指定医 病棟常勤1人 病院常勤2人	看護 13:1 看護補助者 30:1 PSW又は臨床心理技術者 病棟常勤1人	・隔離室を有する	・全病床の7割以上又は200床以上が精神病棟 ・当該病棟は全病床の2割以下(300床以下の場合は60床以下) ・新規入院患者の4割以上が3月以内に在宅移行	・3ヵ月以内に精神病棟に入院したことがない患者 ・他病棟入院患者の急性増悪例	1,900点 (～30日) 1,600点 (31日～)
精神科急性期治療病棟入院料2		看護 15:1 看護補助者 30:1 PSW又は臨床心理技術者 病棟常勤1人				1,800点 (～30日) 1,500点 (31日～)
精神科身体合併症管理加算 (7日間を限度に加算)	・精神科を標榜 ・病棟に専任の内科又は外科の医師が1名以上配置されている			精神科救急入院料 精神科急性期治療病棟入院料 認知症病棟入院料	を算定する患者	300点
				精神病棟入院基本料(10:1又は15:1) 特定機能病院入院基本料(精神病棟)	を算定する患者	200点

# 精神病床入院患者の入院の状況 (患者調査と同じ項目)

	全体		F0		F20	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
生命の危険は少ないが入院治療を要する	10,822	62.6	1,901	55.9	6,712	67.1
生命の危険がある	500	2.9	173	5.1	228	2.3
受け入れ条件が整えば退院可能	5,810	33.6	1,294	38.1	2,989	29.9
検査入院	10	0.1	3	0.1	1	0.0
その他	146	0.8	27	0.8	66	0.7
計	17,288	100.0	3,398	100.0	9,996	100.0

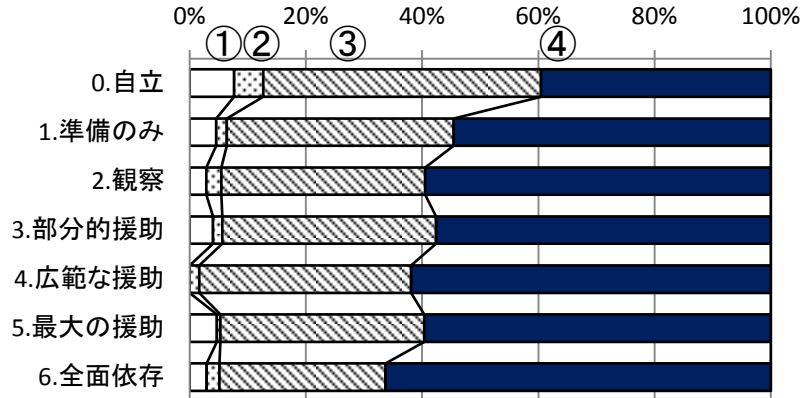
# 精神病床入院患者の 居住先・支援が整った場合の退院の可能性

	全体		F0		F20	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
現在の状態でも、居住先・支援が整えば退院可能	1,585	9.0	257	7.4	659	6.5
状態の改善が見込まれるので、居住先・支援などを新たに用意しなくても近い将来退院可能	1,014	5.8	96	2.8	425	4.2
状態の改善が見込まれるので、居住先・支援が整えば近い将来退院可能	8,015	45.6	1,746	50.5	4,488	44.3
状態の改善は見込まれず、居住先・支援を整えても近い将来退院の可能性なし	6,958	39.6	1,358	39.3	4,564	45.0
計	17,572	100.0	3,457	100.0	10,136	100.0

# 統合失調症患者の状態と退院可能性(1)

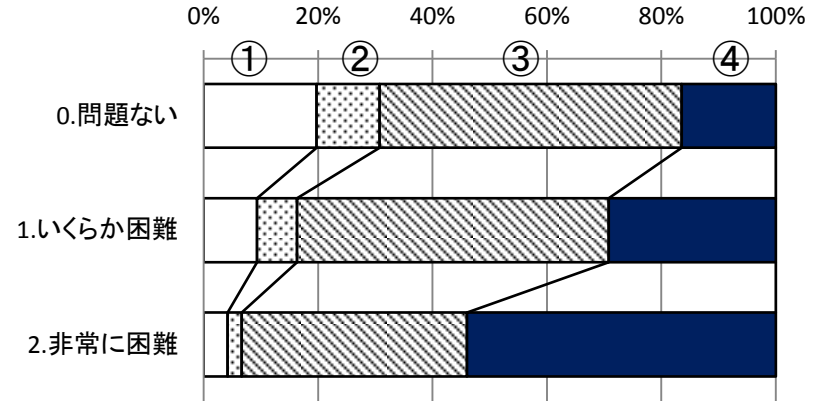
※ベッド上の可動性、移乗、食事、トイレの使用の4項目のうち最も援助を必要とするもの

## ADL

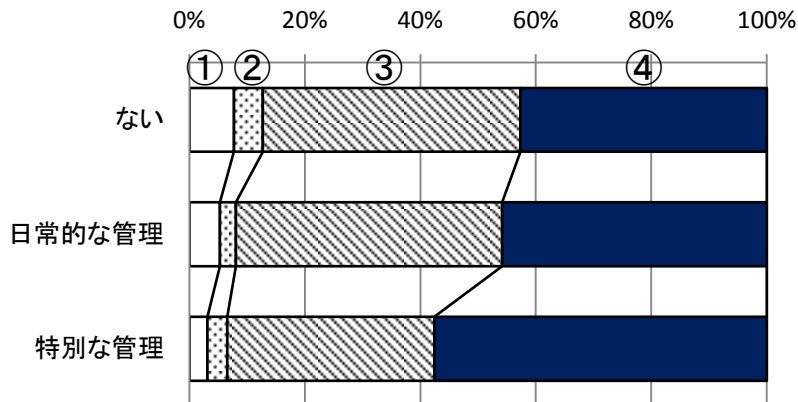


※食事の用意、家事一般、金銭管理、薬の管理、電話の利用、買い物、交通手段の利用の7項目のうち最も困難なもの

## IADL



## 身体合併症



- ① 現在の状態でも居住先・支援が整えば退院可能
- ② 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援などを新たに用意しなくても近い将来退院見込み
- ③ 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援が整えば近い将来退院可能
- ④ 近い将来退院の見込みはない